

# 平成 28 年経済センサス-活動調査

## 一 産業別集計 卸売業，小売業一

総務省，経済産業省所管の平成 28 年経済センサス-活動調査（基幹統計調査）は，我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国的及び地域的に明らかにするとともに，事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団資料を得ることを目的として，平成 28 年 6 月 1 日現在で実施された。

この度，神戸市の卸売業，小売業の結果が得られたので紹介する。

### 1 卸売業，小売業の事業所数，従業者数

卸売業及び小売業の事業所数は，17,200 事業所（平成 24 年経済センサス-活動調査（以下「平成 24 年活動調査」という。）比 3.8%減），従業者は 154,340 人（同 0.8%増）となっている。

兵庫県，全国の結果をみると，事業所数では，兵庫県は 54,143 事業所（同 4.5%減），全国は 1,355,060 事業所（同 3.6%減）となっており，従業者数では，兵庫県は 441,070 人（同 3.4%増），全国は 11,596,089 人（同 3.3%増）となっている。神戸市，兵庫県，全国ともに事業所数は減少，従業者数は増加している。

表1 事業所数及び従業者数（神戸市，兵庫県，全国）

	平成24年	28年	前回比 (%)
	事業所数		
神戸市	17,888	17,200	△ 3.8
兵庫県	56,671	54,143	△ 4.5
全国	1,405,021	1,355,060	△ 3.6
	従業者数		
神戸市	150,130	154,340	2.8
兵庫県	426,705	441,070	3.4
全国	11,225,151	11,596,089	3.3

注) 産業大分類「卸売業，小売業」に格付けられた事業所全てを集計している。

注) 従業者とは，「個人業主」，「無給家族従業者」，「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり，「臨時雇用者」は含まれていない。

## 2 産業分類別の事業所数、従業者数

卸売業、小売業別にみると、卸売業の事業所数は4,815事業所（平成24年活動調査比3.2%減）、従業者数は52,147人（同1.0%減）、小売業の事業所数は12,385事業所（同4.1%減）、従業者数は102,193人（同4.8%増）となっている。事業所、従業者ともに小売業の占める割合が大きい。

表2 産業中分類別 事業所数及び従業者数

産業（中分類）	事業所数			従業者数		
	平成24年	28年	前回比（%）	平成24年	28年	前回比（%）
卸売業、小売業	17,888	17,200	△ 3.8	150,130	154,340	2.8
卸売業計	4,972	4,815	△ 3.2	52,664	52,147	△ 1.0
各種商品卸売業	27	20	△ 25.9	321	305	△ 5.0
繊維・衣服等卸売業	547	497	△ 9.1	6,615	5,158	△ 22.0
飲食料品卸売業	1,028	962	△ 6.4	11,162	11,380	2.0
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	979	951	△ 2.9	8,597	6,256	△ 27.2
機械器具卸売業	1,220	1,254	2.8	12,427	16,335	31.4
その他の卸売業	1,084	1,129	4.2	12,508	12,640	1.1
小売業計	12,916	12,385	△ 4.1	97,466	102,193	4.8
各種商品小売業	34	43	26.5	4,625	5,353	15.7
織物・衣服・身の回り品小売業	2,761	2,694	△ 2.4	14,127	14,110	△ 0.1
飲食料品小売業	3,884	3,662	△ 5.7	36,483	39,891	9.3
機械器具小売業	1,270	1,310	3.1	9,631	9,846	2.2
その他の小売業	4,538	4,224	△ 6.9	28,436	28,247	△ 0.7
無店舗小売業	378	445	17.7	3,748	4,674	24.7

注) 平成24年の「卸売業、小売業」、「卸売業計」、「小売業計」には格付け不能を含む。

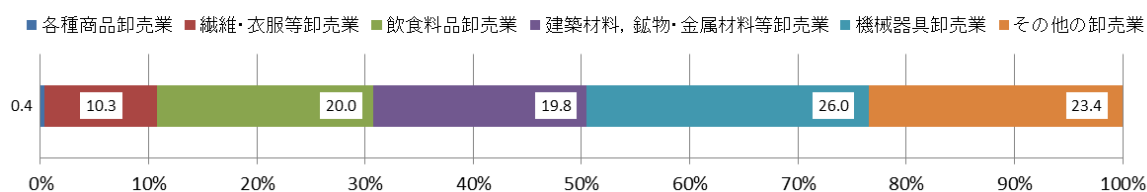
注) 「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

注) 従業者とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、「臨時雇用者」は含めていない。

### (1) 卸売業

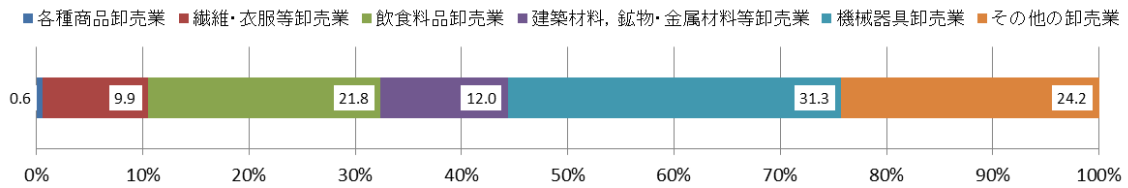
卸売業の事業所数を産業中分類別にみると、「機械器具卸売業」が1,254事業所（卸売業に占める割合26.0%）と最も多く、次いで「その他の卸売業」が1,129事業所（同23.4%）、「飲食料品卸売業」が962事業所（同20.0%）となっている。

図1-1 卸売業の事業所 産業中分類別構成比



卸売業の従業者数をみると、「機械器具卸売業」が16,335人（卸売業に占める割合31.3%）が最も多く、次いで「その他の卸売業」が12,640人（同24.2%）、「飲食料品卸売業」が11,380人（同21.8%）となっている。

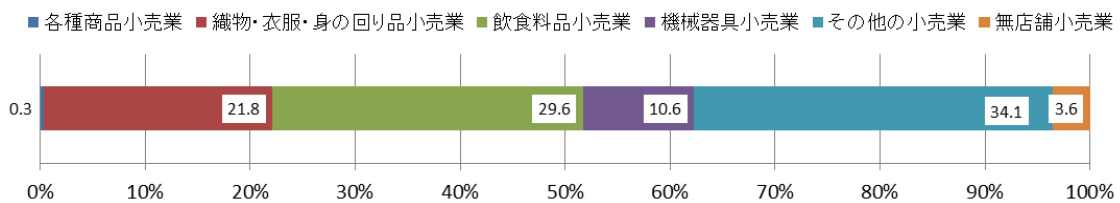
図1-2 卸売業の従業者 産業中分類別構成比



## (2) 小売業

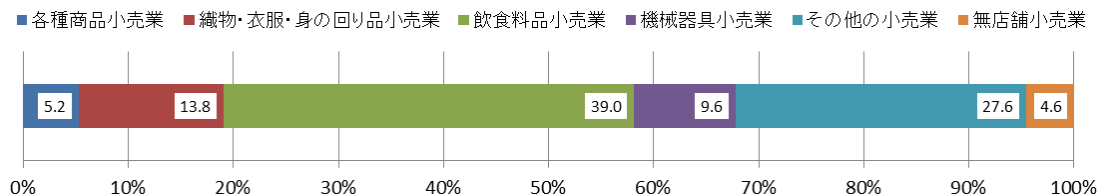
小売業の事業所数を産業中分類別にみると、「その他の小売業」が4,224事業所（小売業に占める割合34.1%）と最も多く、次いで「飲食料品小売業」が3,662事業所（同29.6%）、「織物・衣服・身の回り品小売業」が2,694事業所（同21.8%）となっている。

図2-1 小売業の事業所 産業中分類別構成比



小売業の従業者数をみると、「飲食料品小売業」が39,891人（小売業に占める割合39.0%）が最も多く、次いで「その他の小売業」が28,247人（同27.6%）、「織物・衣服・身の回り品小売業」14,110人（同13.8%）となっている。

図2-2 小売業の従業者 産業中分類別構成比



## 3 年間商品販売額

年間商品販売額については、卸売業及び小売業の事業所のうち、商業の売上（収入）金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。平成27年中の年間商品販売額は、5兆6,483億円となっている。

### (1) 卸売業

卸売業の年間商品販売額は3兆7,796億円であった。産業中分類別にみると、「飲食料品卸売業」が1兆1,300億円（卸売業に占める割合29.9%）と最も多く、次いで「機械器具卸売業」が9,823億円（同26.0%）、「その他の卸売業」が8,491億円（同22.5%）となっている。

表3-1 産業中・小分類別 卸売業の年間商品販売額

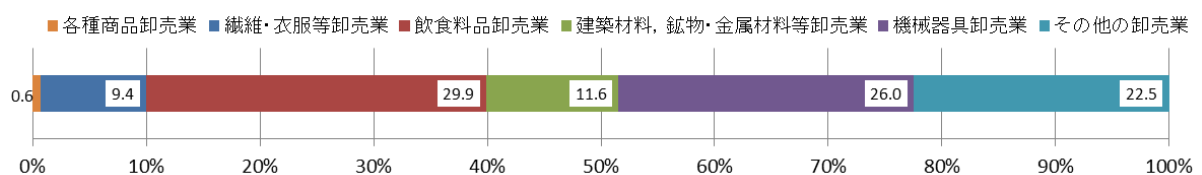
(単位：100万円)

産業分類 (中分類, 小分類)	年間商品販売額		事業所数	
		構成比 (%)		構成比 (%)
卸売業計	3,779,624	100.0	3,419	100.0
各種商品卸売業	24,294	0.6	11	0.3
繊維・衣服等卸売業	354,302	9.4	342	10.0
繊維品卸売業(衣服, 身の回り品を除く)	11,017	0.3	33	1.0
衣服卸売業	105,063	2.8	129	3.8
身の回り品卸売牛尾	238,222	6.3	180	5.3
飲食料品卸売業	1,129,973	29.9	730	21.4
農畜産物・水産物卸売業	601,885	15.9	389	11.4
食料・飲料卸売業	528,088	14.0	341	10.0
建築材料, 鉱物・金属材料等卸売業	439,651	11.6	624	18.3
建築材料卸売業	135,981	3.6	257	7.5
化学製品卸売業	97,840	2.6	165	4.8
石油・鉱物卸売業	74,203	2.0	44	1.3
鉄鋼製品卸売業	87,048	2.3	74	2.2
非鉄金属卸売業	15,564	0.4	27	0.8
再生資源卸売業	29,016	0.8	57	1.7
機械器具卸売業	982,309	26.0	903	26.4
産業機械器具卸売業	319,953	8.5	355	10.4
自動車卸売業	162,874	4.3	155	4.5
電気機械器具卸売業	246,915	6.5	198	5.8
その他機械器具卸売業	252,567	6.7	195	5.7
その他の卸売業	849,095	22.5	809	23.7
家具・建具・じゅう器等卸売業	55,400	1.5	111	3.2
医薬品・化粧品等卸売業	503,802	13.3	194	5.7
紙・紙製品卸売業	28,696	0.8	55	1.6
他に分類されない卸売業	261,196	6.9	449	13.1

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には, 管理, 補助的経済活動のみを行う事業所を含まない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には, 産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

図3-1 卸売業の年間商品販売額 産業中分類別構成比



## (2) 小売業

小売業の年間商品販売額は1兆8,687億円であった。産業中分類別にみると, 「飲食料品小売業」が4,769億円(小売業に占める割合25.5%)と最も多く, 次いで「その他の小売業」が4,466億円(同23.9%), 「機械器具小売業」が3,239億円(同17.3%)となっている。産業小分類別にみると, 「各種食料品小売業」が2,644億円(同14.1%)と最も多く, 次いで「百貨店, 総合スーパー」が2,595億円(同13.9%), 「自動車小売業」が2,236億円(同12.0%)となっている。

表3-2 産業中・小分類別 小売業の年間商品販売額

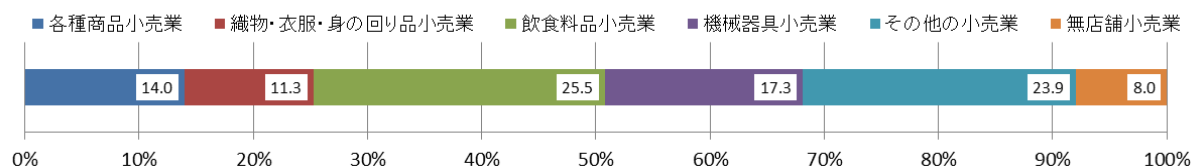
(単位：100万円)

産業分類 (中分類, 小分類)	年間商品販売額		事業所数	
		構成比 (%)		構成比 (%)
小売業計	1,868,692	100.0	9,389	100.0
各種商品小売業	261,479	14.0	38	0.4
百貨店, 総合スーパー	259,544	13.9	23	0.2
その他の各種商品小売業 (従業者が常時50人未満のもの)	1,935	0.1	15	0.2
織物・衣服・身の回り品小売業	211,062	11.3	1,960	20.9
呉服・服地・寝具小売業	6,291	0.3	117	1.2
男子服小売業	30,373	1.6	258	2.7
婦人・子供服小売業	112,030	6.0	880	9.4
靴・履物小売業	12,359	0.7	159	1.7
その他の織物・衣服・身の回り品小売業	50,010	2.7	546	5.8
飲食品小売業	476,876	25.5	2,874	30.6
各種食食品小売業	264,363	14.1	226	2.4
野菜・果実小売業	8,456	0.5	169	1.8
食肉小売業	13,909	0.7	160	1.7
鮮魚小売業	8,658	0.5	102	1.1
酒小売業	17,966	1.0	385	4.1
菓子・パン小売業	33,662	1.8	635	6.8
その他の飲食品小売業	129,862	6.9	1,197	12.7
機械器具小売業	323,904	17.3	946	10.1
自動車小売業	223,556	12.0	507	5.4
自転車小売業	2,534	0.1	60	0.6
機械器具小売業 (自動車, 自転車を除く)	97,815	5.2	379	4.0
その他の小売業	446,593	23.9	3,276	34.9
家具・建具・畳小売業	27,935	1.5	168	1.8
じゅう器小売業	5,013	0.3	143	1.5
医薬品・化粧品小売業	153,129	8.2	918	9.8
農耕用品小売業	4,971	0.3	30	0.3
燃料小売業	85,262	4.6	195	2.1
書籍・文房具小売業	33,835	1.8	329	3.5
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	34,350	1.8	218	2.3
写真機・時計・眼鏡小売業	19,447	1.0	242	2.6
他に分類されない小売業	82,652	4.4	1,033	11.0
無店舗小売業	148,777	8.0	295	3.1
通信販売・訪問販売小売業	132,203	7.1	216	2.3
自動販売機による小売業	11,869	0.6	33	0.4
その他の無店舗小売業	4,705	0.3	46	0.5

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、管理、補助的経済活動のみを行う事業所を含まない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

図3-2 小売業の年間商品販売額 産業中分類別構成比



#### 4 単位当たりの年間商品販売額 (販売効率)

##### (1) 卸売業

卸売業の1事業所当たりの年間商品販売額は11億1,035万円であった。産業小分類別に

みると、「医薬品・化粧品等卸売業」が25億9,692万円と最も多く、次いで「石油・鉱物卸売業」が16億8,642万円、「食料・飲料卸売業」が15億4,865万円となっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額は1億643万円であった。産業小分類別にみると、「石油・鉱物卸売業」が1億9,273万円と最も多く、次いで「農畜産物・水産物卸売業」が1億6,289万円、「鉄鋼製品卸売業」が1億6,150万円となっている。

表4-1 産業中・小分類別 卸売業の1事業所当たり、  
従業者1人当たりの年間商品販売額

(単位：万円)

産業分類 (中分類, 小分類)	1事業所当たりの 年間商品販売額	従業者1人当たり の年間商品販売額
卸売業計	111,035	10,643
各種商品卸売業	220,851	11,352
繊維・衣服等卸売業	103,597	9,436
繊維品卸売業(衣服, 身の回り品を 除く)	33,384	5,210
衣服卸売業	81,444	5,886
身の回り品卸売業	132,346	13,543
飲食料品卸売業	154,791	13,281
農畜産物・水産物卸売業	154,726	16,289
食料・飲料卸売業	154,865	10,972
建築材料, 鉱物・金属材料等卸売業	70,457	10,144
建築材料卸売業	52,911	7,819
化学製品卸売業	59,297	8,299
石油・鉱物卸売業	168,642	19,273
鉄鋼製品卸売業	117,632	16,150
非鉄金属卸売業	57,643	12,352
再生資源卸売業	50,906	7,928
機械器具卸売業	108,783	10,000
産業機械器具卸売業	90,127	8,480
自動車卸売業	105,080	9,829
電気機械器具卸売業	124,705	12,636
その他機械器具卸売業	129,522	10,355
その他の卸売業	106,939	9,558
家具・建具・じゅう器等卸売業	49,910	6,769
医薬品・化粧品等卸売業	259,692	12,056
紙・紙製品卸売業	52,175	6,016
他に分類されない卸売業	60,183	7,633

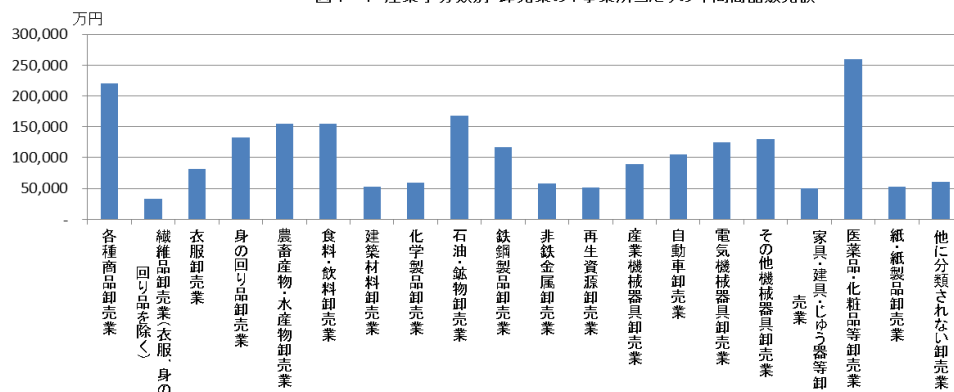
注) 従業者とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇員」の計であり、「臨時雇員」は含めていない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、管理、補助的経済活動のみを行う事業所を含まない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

注) 「従業者1人当たりの年間商品販売額」は、パート、アルバイトなどの従業者について、8時間換算したものを用いて算定した。

図4-1 産業小分類別 卸売業の1事業所当たりの年間商品販売額



## (2) 小売業

小売業の1事業所当たりの年間商品販売額は1億9,903万円となった。産業小分類別にみると、「百貨店、総合スーパー」が112億8,450万円と最も多く、次いで「各種食料品小売業」が11億6,975万円、「通信販売・訪問販売小売業」が6億1,205万円となっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額は2,931万円となった。産業小分類別にみると、「百貨店、総合スーパー」が6,828万円、次いで「燃料小売業」が6,473万円、「通信販売・訪問販売小売業」が5,576万円となっている。

売場面積1㎡当たりの年間商品販売額は83万円となった。産業小分類別にみると、「食肉小売業」が274万円と最も多く、次いで「鮮魚小売業」が263万円、「医薬品・化粧品小売業」が152万円となっている。

表4-2 産業中・小分類別 小売業の1事業所当たり、  
従業者1人当たりの年間商品販売額

(単位：万円)

産業分類 (中分類, 小分類)	1事業所当たりの 年間商品販売額	従業者1人当たりの 年間商品販売額	売場面積1㎡ 当たりの年間 商品販売額
小売業計	19,903	2,931	83
各種商品小売業	688,101	6,774	96
百貨店、総合スーパー	1,128,450	6,828	97
その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの）	12,900	3,280	61
織物・衣服・身の回り品小売業	10,768	2,257	75
呉服・服地・寝具小売業	5,377	1,392	42
男子服小売業	11,772	2,682	66
婦人・子供服小売業	12,731	2,414	88
靴・履物小売業	7,773	1,956	88
その他の織物・衣服・身の回り品小売業	9,159	2,018	65
飲食物品小売業	16,593	2,135	121
各種食料品小売業	116,975	3,145	115
野菜・果実小売業	5,003	1,319	87
食肉小売業	8,693	1,739	274
鮮魚小売業	8,488	1,771	263
酒小売業	4,666	1,697	119
菓子・パン小売業	5,301	960	128
その他の飲食物品小売業	10,849	1,747	129
機械器具小売業	34,239	4,552	60
自動車小売業	44,094	5,057	47
自転車小売業	4,223	1,322	30
機械器具小売業（自動車、自転車を除く）	25,809	3,901	65
その他の小売業	13,632	2,466	63
家具・建具・畳小売業	16,628	2,470	27
じゅう器小売業	3,506	1,256	49
医薬品・化粧品小売業	16,681	2,702	152
農耕用品小売業	16,568	3,737	106
燃料小売業	43,724	6,473	70
書籍・文房具小売業	10,284	1,360	48
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	15,757	2,542	47
写真機・時計・眼鏡小売業	8,036	2,105	133
他に分類されない小売業	8,001	1,782	39
無店舗小売業	50,433	4,860	-
通信販売・訪問販売小売業	61,205	5,576	-
自動販売機による小売業	35,967	2,846	-
その他の無店舗小売業	10,229	1,724	-

注) 従業者とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、「臨時雇用者」は含めていない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、管理、補助的経済活動のみを行う事業所を含まない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

注) 「従業者1人当たりの年間商品販売額」は、パート、アルバイトなどの従業者について、8時間換算したものをを用いて算定した。

図4-2 産業小分類別 小売業の1事業所当たりの年間商品販売額

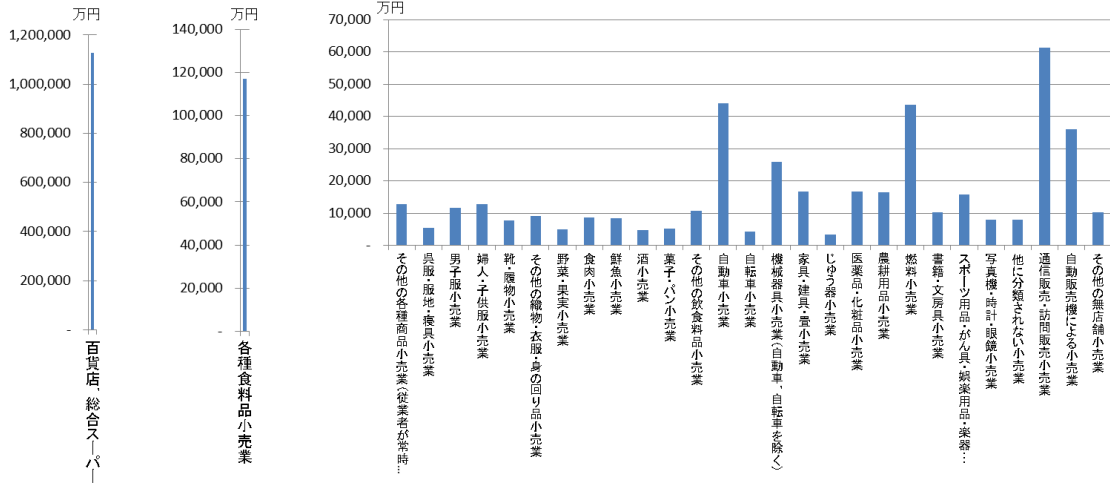


図4-3 産業小分類別 小売業の従業者1人当たりの年間商品販売額

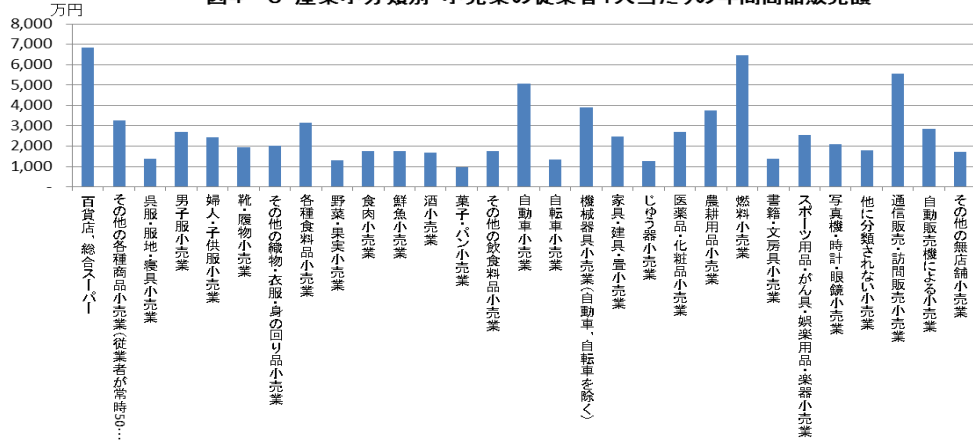
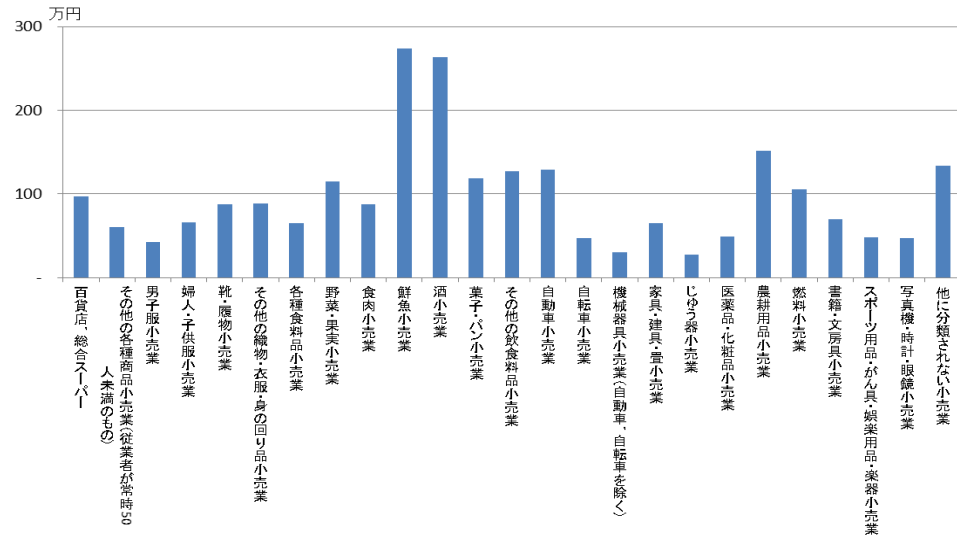


図4-4 産業小分類別 小売業の売場面積1㎡当たりの年間商品販売額





## 5 区別の商業

### (1) 事業所数

事業所数を区別にみると、中央区が 3,762 事業所（全市に占める割合 29.4%）と最も多く、次いで兵庫区が 1,518 事業所（同 11.9%）、東灘区が 1,321 事業所（同 10.3%）となっており、この 3 区で全市の 5 割以上を占める。

卸売業の事業所数をみると、中央区が 1,248 事業所（全市における卸売業に占める割合 36.5%）と最も多く、次いで兵庫区が 552 事業所（同 16.1%）、東灘区が 371 事業所（同 10.9%）となっており、3 区で全市の 6 割以上を占める。この 3 区を中分類別にみると、中央区では「機械器具卸売業」が、兵庫区、東灘区では「飲食料品卸売業」が最も多い。

小売業の事業所数をみると、中央区が 2,514 事業所（全市における小売業に占める割合 26.8%）と最も多く、次いで兵庫区、北区がともに 966 事業所（同 10.3%）となっており、3 区で全市の 5 割弱を占める。この 3 区を中分類別にみると、中央区では「織物・衣服・身の回り品小売業」、「その他の小売業」が多く、兵庫区、北区では「その他の小売業」、「飲食料品小売業」が多い。

表5-1 産業中分類別 区別事業所数

産業中分類	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区	
卸売業、小売業	12,808	1,321	1,003	3,762	1,518	1,108	1,071	806	1,013	1,206	
卸売業計	3,419	371	205	1,248	552	142	326	170	80	325	
各種商品卸売業	11	-	1	8	2	-	-	-	-	-	
繊維・衣服等卸売業	342	30	15	153	15	8	75	33	5	8	
飲食料品卸売業	730	136	40	202	177	29	44	46	17	39	
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	624	51	43	170	101	32	81	23	22	101	
機械器具卸売業	903	71	56	370	147	34	64	32	14	115	
その他の卸売業	809	83	50	345	110	39	62	36	22	62	
小売業計	9,389	950	798	2,514	966	966	745	636	933	881	
各種商品小売業	38	4	-	11	1	4	-	7	3	8	
織物・衣服・身の回り品小売業	1,960	150	117	872	133	220	88	84	203	93	
飲食料品小売業	2,874	311	277	584	356	269	318	236	277	246	
機械器具小売業	946	102	81	109	95	97	96	70	123	173	
その他の小売業	3,276	344	298	866	357	351	218	222	305	315	
無店舗小売業	295	39	25	72	24	25	25	17	22	46	
				構成比 (%)							
卸売業、小売業	100.0	10.3	7.8	29.4	11.9	8.7	8.4	6.3	7.9	9.4	
卸売業計	100.0	10.9	6.0	36.5	16.1	4.2	9.5	5.0	2.3	9.5	
小売業計	100.0	10.1	8.5	26.8	10.3	10.3	7.9	6.8	9.9	9.4	

注) 産業中分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

図5-1 卸売業 区別事業所数

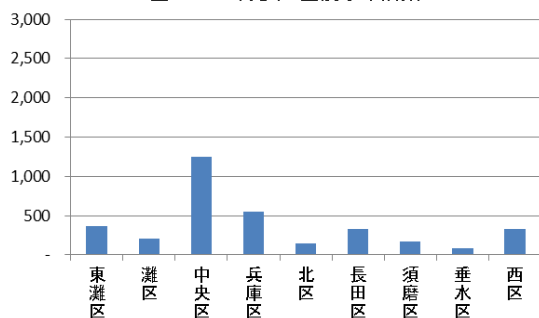
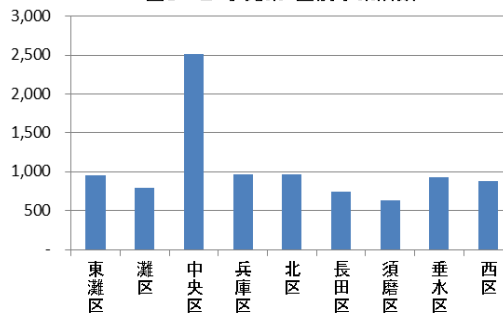


図5-2 小売業 区別事業所数



## (2) 従業者数

従業者数を区別にみると、中央区が 37,635 人（全市における割合 31.8%）と最も多く、次いで東灘区が 14,030 人（同 11.9%）、西区が 13,550 人（同 11.4%）となっており、この 3 区で全市の 5 割以上を占める。

卸売業の従業者数をみると、中央区が 16,372 人と、全市における卸売業の従業者の 44.6%を占める。中央区を産業中分類別にみると、「機械器具卸売業」が 5,128 人、「その他の卸売業」が 4,905 人となっており、この 2 産業で中央区における卸売業の従業者の 6 割以上を占める。

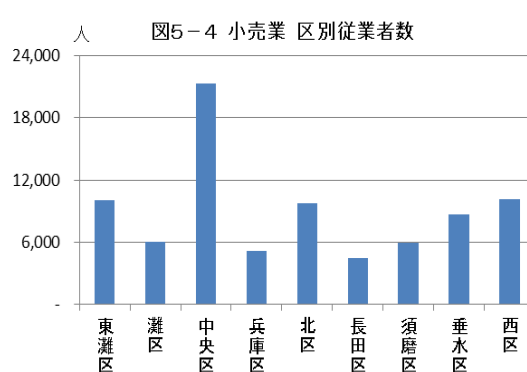
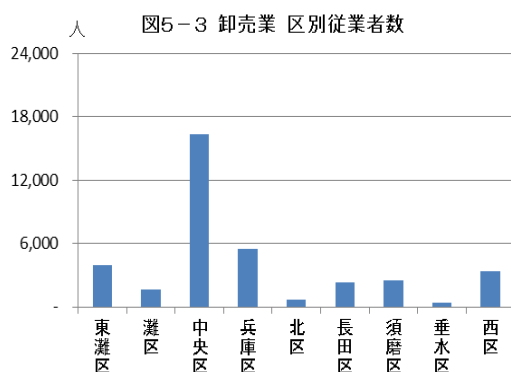
小売業の従業者数をみると、中央区が 21,263 人（全市における小売業に占める割合 26.0%）と最も多く、西区が 10,161 人（同 12.4%）、東灘区が 10,105 人（同 12.4%）となっている。この 3 区を産業中分類別にみると、中央区では「飲食料品小売業」、「その他の小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」が多く、この 3 産業で中央区の小売業の従業者の 8 割以上を占めている。西区、東灘区では「飲食料品小売業」、「その他の小売業」が多い。

表5-2 産業中分類別 区別従業者数

産業中分類	(単位:人)									
	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
実数										
卸売業、小売業	118,372	14,030	7,756	37,635	10,654	10,397	6,763	8,510	9,077	13,550
卸売業計	36,713	3,925	1,681	16,372	5,488	681	2,289	2,518	370	3,389
各種商品卸売業	214	-	9	186	19	-	-	-	-	-
繊維・衣服等卸売業	3,890	185	165	1,846	116	31	625	824	9	89
飲食料品卸売業	8,971	1,600	359	2,852	2,071	144	353	603	144	845
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	4,400	399	363	1,455	780	143	442	157	59	602
機械器具卸売業	9,940	857	365	5,128	1,472	215	470	321	62	1,050
その他の卸売業	9,298	884	420	4,905	1,030	148	399	613	96	803
小売業計	81,659	10,105	6,075	21,263	5,166	9,716	4,474	5,992	8,707	10,161
各種商品小売業	5,085	272	-	1,672	160	466	-	597	507	1,411
織物・衣服・身の回り品小売業	10,413	845	378	5,353	337	1,359	280	347	999	515
飲食料品小売業	32,812	4,508	3,104	6,260	2,371	3,999	2,400	2,744	3,692	3,734
機械器具小売業	7,394	1,126	572	1,116	538	749	501	395	960	1,437
その他の小売業	22,645	2,803	1,844	5,747	1,556	2,896	1,104	1,632	2,474	2,589
無店舗小売業	3,310	551	177	1,115	204	247	189	277	75	475
構成比 (%)										
卸売業、小売業	100.0	11.9	6.6	31.8	9.0	8.8	5.7	7.2	7.7	11.4
卸売業計	100.0	10.7	4.6	44.6	14.9	1.9	6.2	6.9	1.0	9.2
小売業計	100.0	12.4	7.4	26.0	6.3	11.9	5.5	7.3	10.7	12.4

注) 産業中分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

注) 従業者とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、「臨時雇用者」は含まれていない。



### (3) 年間商品販売額

年間商品販売額については、卸売業及び小売業の事業所のうち、商業の売上（収入）金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。卸売業では中央区が2兆409億円と最も多く、全市の卸売業の年間商品販売額の5割以上を占める。次いで兵庫区が4,726億円、東灘区が4,327億円となっている。

小売業では中央区が6,198億円と最も多く、次いで西区が2,475億円、東灘区が2,305億円となっている。全市の小売業の年間商品販売額に占める割合は、この3区で6割弱になっている。

表5-3 区別 年間商品販売額及び事業所数

(単位：100万円)

区	卸売業			小売業		
	年間商品販売額	構成比 (%)	事業所数	年間商品販売額	構成比 (%)	事業所数
全市	3,779,624	100.0	3,419	1,868,692	100.0	9,389
東灘区	432,650	11.4	371	230,506	12.3	950
灘区	143,077	3.8	205	99,290	5.3	798
中央区	2,040,911	54.0	1,248	619,815	33.2	2,514
兵庫区	472,624	12.5	552	103,039	5.5	966
北区	34,163	0.9	142	207,026	11.1	966
長田区	135,293	3.6	326	76,283	4.1	745
須磨区	223,569	5.9	170	117,160	6.3	636
垂水区	18,651	0.5	80	168,088	9.0	933
西区	278,687	7.4	325	247,486	13.2	881

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、管理、補助的経済活動のみを行う事業所を含まない。

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」には、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計している。

図5-5 区別 卸売業年間商品販売額

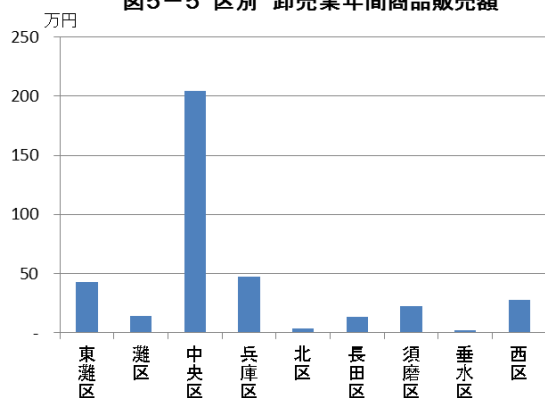
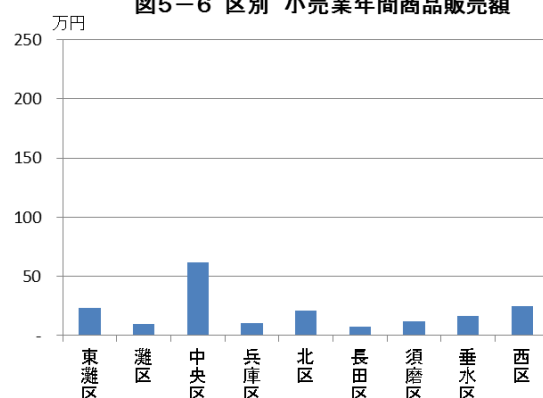


図5-6 区別 小売業年間商品販売額



#### (4) 小売業の商店規模

1事業所当たりの従業者数は西区が11.5人と最も多く、次いで東灘区が10.6人、北区が10.1人となっている。

1事業所当たりの年間商品販売額は西区が2億8,091万円と最も多く、次いで中央区が2億4,655万円、東灘区が2億4,264万円となっている。

1事業所当たりの売場面積は西区が280.6㎡と最も広く、次いで北区が233.0㎡、垂水区が231.7㎡となっている。

表6-1  
小売業1事業所当たりの従業者数  
(単位：人)

区	平成28年
全市	8.7
東灘区	10.6
灘区	7.6
中央区	8.5
兵庫区	5.3
北区	10.1
長田区	6.0
須磨区	9.4
垂水区	9.3
西区	11.5

図6-1 小売業1事業所当たりの従業者数

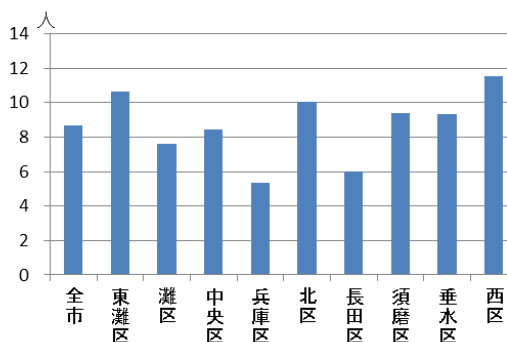


表6-2  
小売業1事業所当たりの年間商品販売額  
(単位：万円)

区	平成27年
全市	19,903
東灘区	24,264
灘区	12,442
中央区	24,655
兵庫区	10,667
北区	21,431
長田区	10,239
須磨区	18,421
垂水区	18,016
西区	28,091

図6-2 小売業1事業所当たりの年間商品販売額

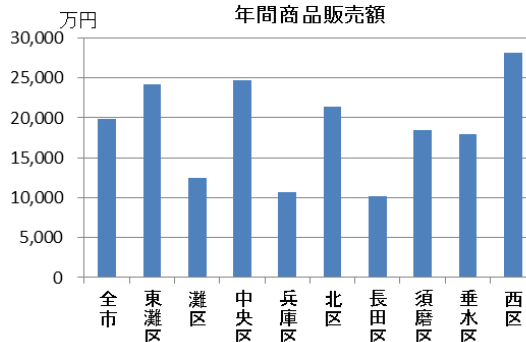
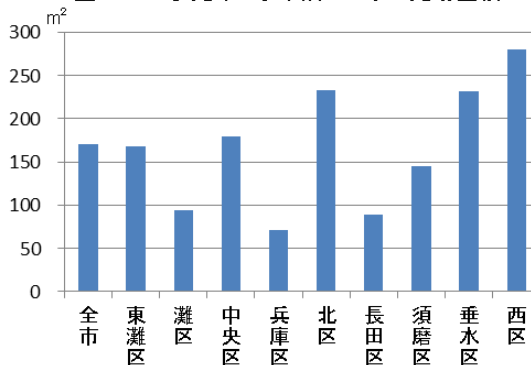


表6-3  
小売業1事業所当たりの売場面積  
(単位：㎡)

区	平成28年
全市	170.6
東灘区	167.8
灘区	93.8
中央区	179.6
兵庫区	70.7
北区	233.0
長田区	89.4
須磨区	145.7
垂水区	231.7
西区	280.6

図6-3 小売業1事業所当たりの売場面積



注) 売場面積を持つ事業所について集計している。